

☆四日市市立三重平中学校区の取組

◆事業概要



1 中学校区の現状と課題

三重平中学校の校区は、三重西小学校区及び神前小学校区の一部であり、三重地区と神前地区にまたがります。三重西小学校区は、1970年代に開発された団地を中心地域としています。神前小学校区は、大半が市街化調整区域であり農村の雰囲気を残しています。

校区の子ども達の学力状況や生活実態を見ると、学習環境が整わない子どもや学習習慣が定着しにくい等の教育的に不利な環境のもとにある子どもが少なくありません。自尊感情や学習意欲の低い子どもが多く、自尊感情を高めるためのソーシャルスキルトレーニングや学びをあきらめさせないための学び合いのある授業づくり等を、中学校区内の小中学校が連携を取りながら推進しています。

このような状況にある子ども達の進路を保障し、将来の展望をもつための支援をどのように進めていくのが、中学校区での課題でした。

2 課題解決のための主な取組

地域活動に熱心に取り組まれている方々を中心とした委員で構成する「三重平中学校区子ども支援ネットワーク」（以下「ネットワーク」という。）を構築しました。

このネットワーク委員会を核としながら、これまで各学校・園で行われてきた地域との交流や地域からの支援を継続して進めました。そして、中学校区として情報や人的資源の共有を図ることで、子ども達の「自尊感情の高揚」及び「学習意欲の向上」をめざした取組を進めました。

(1)「自尊感情の高揚」の取組～三世代交流フェスタを通して～

三重西地区の活性化と地域の一体感の醸成を図るため、ネットワーク委員会の委員を中心とした地域住民が中心となり、三重平中学校PTAも参加し、8月に「三世代交流フェスタ」を企画しました。

三世代交流という趣旨を踏まえ、ボランティアとして参加した10名の子ども達は、PTAとともに事前の準備から積極的に取り組みました。

子ども達は充実感とともに、販売活動を通して、地域の方々との交流を充分に楽しむことができました。地域からも、中学生の活躍でイベントが活気づいたと喜んでいただくことができました。



「三世代交流フェスタ」での様子

(2)「学習意欲の向上」の取組 ～地域子ども教室の開催を通して～

ネットワーク委員会は、学習環境が整わない子ども達に、放課後の学習支援の場を提供し、学習習慣の定着を図り、学習意欲の向上を目的とする「地域子ども教室」を開設しました。

学習の進め方としては、自分のやりたい教材に取り組み、ボランティアスタッフが質問に応じながら学習の指導・支援を行う形態をとりました。参加する子ども達は、学校の教師とは違う地域・学生スタッフとの係わりを楽しみながら、それぞれのペースで学習に取り組みました。地域・学生スタッフも子ども達を受け入れながら、学習の指導・支援を進めました。

特に校区集会所での教室は、子ども達の「居場所」としての役割を高めました。



集会所での様子

◆実践を振り返って

自尊感情を高める取組については、従来から地域との交流や地域からの支援を受け、特に小学校の子ども達の成長が図られてきました。ネットワークを構築したことで、中学校の子ども達にも地域との交流の機会を作ることができ、自尊感情を高める取組ができました。中学校は、授業時数や部活動等により、地域との交流の制約は大きいですが「できるところから」「できる形」で、今後も地域との交流を進めていきたいと思えます。

学習意欲の向上への取組としては、「地域子ども教室」の定期的な開催に努めてきました。子ども達はこの教室で、地域・学生のスタッフの丁寧な係わりからネットワークのねらいである「つながり」を確実に強めています。集会所での教室開設が、子ども達の「居場所」になり、学習意欲の向上を担うことが今後も重要であると考え、取組を継続していきたいと思えます。